

区分	取組例示	取組内容	R 5 年度実績	R 6 年度取組み	担当課
◎ひとづくり					
○普及啓発					
1		・様々な情報媒体を活用した情報発信			
		・広報まつもと特集ページ ・広報まつもとコラム 「心の橋をあなたから」	・広報まつもと特集ページ年1回実施（6月号） ・松本市女性センター公式Facebook、Twitterの随時更新 ・パレア松本ニュースレターの発行（毎月1回）	・広報まつもと特集ページ年1回実施（6月号） ・松本市ジェンダー平等センターHP、Facebook、Xの随時更新 ・パレア松本ニュースレターの発行（毎月1回）	人権共生課
2		・高学年児童を対象としたパンフレットの配布により、子どもたちをはじめ、保護者等を含む、多くの市民にUDの理解浸透を図る。	・まつもとUD研究会において、令和4年度に作成した動画「見つけよう！松本平のユニバーサルデザイン」をYouTubeに配信	・継続	まつもとUD研究会 （総合戦略室）
・講演会、研修会、学習会、フォーラムなどの開催					
3		・聴覚障がい者と学ぶ成人学校開催 ・手話教室の開催数・参加者・日本語教室指導者研修会 ・パラスポーツを地域でレクリエーションとして取り入れるための講座	・聴覚障がい者と学ぶ成人学校：年5回・72人 ・中級者向け手話教室：20回・延べ167人 ・高校生向け手話教室：3回・延べ35人 ・初心者向け手話教室：20回・延べ287人	・聴覚障がい者と学ぶ成人学校：年5回 ・中級者向け手話教室：20回 ・中学・高校生向け手話教室：3回 ・初心者向け手話教室：20回	生涯学習課
・学校教育における体験学習や人権教育の推進					
4		・小学校4年生でUDについて学習し、児童の理解を深める。（教育課程内で実施）	・教育課程内で実施	・教育課程内で実施	学校教育課
・誰もがイベントに参加できるための手話通訳、要約筆記などの手配					
5		・イベント会場でのチラシ配布及び案内	・第35回国宝松本城太鼓まつり パンフレットの多言語対応、会場内への車椅子席の設置、外国人観光客への案内対応 ・イベントにおける多言語対応パンフレットの配布	・継続	観光プロモーション課
6		・養成のための研修会	・研修受講者 手話通訳：66名	・研修受講者 手話通訳：40名	障がい福祉課
・アイデアコンクール、出前講座等の実施					
7		・アイデアコンクールを実施（隔年）し、多くの市民にUDの理解浸透を図る。	まつもとUD研究会が実施（アイディアコンクール2023「こんなベンチがあったらいいな」）	・まつもとUD研究会で検討（隔年で実施）	まつもとUD研究会 （総合戦略室）
8		・出前講座の実施	・実施なし	・依頼に応じて実施	総合戦略室
・UD推進のための検証体制づくり					
9		・推進会議を開催し、取組みを検証	・1回開催	・開催予定	総合戦略室

区分	取組例示	取組内容	R 5 年度実績	R 6 年度取組み	担当課
10	○人材育成				
	実践活動に取り組んでいる市民や民間団体、事業者との連携と情報交換の推進				
		・まつもとUD研究会の活動を支援	・まつもとUD研究会が実施した「UDプロジェクト2023」への補助	・まつもとUD研究会が実施する「UDプロジェクト2024」への補助	総合戦略室
		・まつもとUD研究会活動発表会への参加と意見交換	・5月19日 総会参加 ・9月22・26日 ユニバーサルデザインへの気づきセミナー参加 ・12月4日 まちなかUD探訪参加 ・12月25日 松本市とまつもとUD研究会との間で「ユニバーサルデザインベンチ」等をテーマに意見交換	・総会参加等での意見交換を継続	総合戦略室
	・専門家による講演会、研修会、フォーラムなどの開催				
		・庁内研修会の開催	・実施なし	・実施検討	総合戦略室
	・UD推進リーダーの育成				
		・松本市町内公民館町会研修会の実施	・実施なし	・実施検討	生涯学習課
	○社会活動・社会参画の推進				
		・高齢者が積極的に活動できる機会や場の提供			
		・福祉ひろば事業の実施	・イオンタウン村井内に子育て支援と福祉ひろばを併設した多世代交流型子育て支援施設「あんさんぶる」を開設（令和5年7月12日） ・福祉ひろば利用者数：214,000人（R6年3月末見込） 【実績】 R4年度：185,862人 R3年度：154,647人 R2年度：139,728人 R元年度：244,403人	・福祉ひろば利用者見込み数：220,000人	地域づくり課
14	・地域における男女共同参画を促進する事業の推進				
		・地域組織等の指導的地位における女性比率の調査、公開	・男女共同参画推進委員会（令和5年7月21日開催）及び市のホームページ（令和5年8月18日）で公表 【参考①：松本市の附属機関等の女性委員比率の推移】 R4年度：34.0%（前年度±0） R3年度：34.0%（前年度+0.6%） R2年度：33.4%（前年度+0.8%） R元年度：32.6% 【参考②：長野県公表数値での県内他市との比較】 ・議会における女性議員の割合 34.5% 1/19位 ・審議会等委員に占める女性の割合 27.3% 12/19位 ・自治会長に占める女性の割合 1.8% 9/19位	・継続	人権共生課
	・多文化の共生意識を育むための学習機会の提供				
		・庁内各課の取組状況の調査	・令和5年12月に実施	・継続	人権共生課
15	・市民講座など公民館等を利用しての地域単位での意識啓発				
		・地区公民館での学級・講座の開催及び公民館研究集会の開催により、多くの市民にUDの理解浸透を図る。	・学級・講座参加者数：90,000人（見込） ・公民館研究集会参加者数：400人	・継続	生涯学習課

区分	取組例示	取組内容	R 5 年度実績	R 6 年度取組み	担当課
◎まちづくり					
1	○建物・施設				
	・設計、施工、管理運営に関わる人を対象とした研修会等の実施				
		・UDフォーラムを開催し、多くの市民にUDの理解浸透を図る。	・実施なし	・実施検討	総合戦略室
	・既存施設の段差改善や解消など施設整備の推進				
	2	○学校施設のUD化 ・学校体育館や昇降口へのスロープ等の設置 ・トイレの洋式化 ・共用多目的トイレの整備 ・施設の長寿命化改良事業及び改築事業の際にUD化を進める。	・トイレ洋式化 11校 ・共用多目的トイレ設置 4校 【実績】学校トイレ洋式化率 R2: 44%→R5末: 79% 小中学校44校のうち、今後10年程度で長寿命化・改築工事を控える学校等を除き、必要最低限の和式トイレは残した上で洋式化を完了	・トイレ洋式化 1校	学校教育課
3		○地区公民館のUD化 ・地区公民館大規模改修にあわせUD化を進める。	・該当なし	・予定なし	生涯学習課
4	・公共施設への自動体外式除細動器(AED)の設置				
		○公共施設へのAED設置 ・第4次配備計画 配備基準 利用者が多い施設(概ね1万人以上/年間)、小学校及び中学校、スポーツ施設、高齢者が多く利用する施設	・現配備数176カ所・185台 更新 17台(更新基準: 本体8年) 新設 3カ所・3台 【参考】配置基準に基づく新設を完了	・配備数176カ所・185台 更新 25台更新(更新基準: 本体8年) 新設 予定なし	健康づくり課
○道路・交通					
5	・バス、電車、タクシーなど公共交通機関の総合的な整備に関する研究				
		・持続可能な公共交通を目指し、新たな運行体制を構築し、路線等の再編を行う。 ・地域の実情に合わせた交通体系の構築する。	・R5年4月 公設民営バス「ぐるっとまつもと」の運行開始 (バス停・路線名の統一、便数・ルートを見直し) ・R5年10月 梓川・寿地区でA I デマンドバス「のるーと松本」の実証運行を開始 ・R5年11月 QRコードによるキャッシュレス決済を全路線に導入 ・R6年2月 クレジットカード決済サービスを全路線に導入 ・路線バス等利用者数 R5年度から市内を走る全路線に乗降カウンターを設置しデータ収集を開始(3月末に集計結果が確定) 【実績】R4年度 2,151千人 R3年度 1,874千人 R2年度 1,775千人	・公設民営バス「ぐるっとまつもと」の運行を継続 【参考】アルピコ交通(株)と5年間(R5年~R10)の協定による運行継続	公共交通課 交通ネットワーク課
6	・円滑な移動のためのエレベーター設置促進やノンステップ型低床・低公害バスの導入				
		・低床型バスの導入 ・鉄道駅等へのエレベーターの設置促進	・JR村井駅改築工事中(エレベーター設置)	・JR村井駅改築工事完了	公共交通課

区分	取組例示	取組内容	R 5 年度実績	R 6 年度取組み	担当課
7		・歩行者、自転車、自動車の安全区画設置			
		・自転車通行空間の整備	・矢羽根型路面表示整備率 39.5% 【実績】R 4 年度 20.0% R 3 年度 自転車活用推進計画を策定	・矢羽根型路面表示整備率 59.5% 【参考】R8年度までに事業延長46.3kmを整備予定	自転車推進課
		・冬季凍結箇所の危険性の低減化促進			
8		・松本市道路除雪事業計画に基づき、道路利用者がスタッドレスタイヤ等の防滑装置を装着した状態で、路面状況に応じた運転を行っている場合の安全な交通確保を目指し、除雪作業等を実施。また、歩道等の除雪については、市民の協力により実施	・除融雪委託業者と連携を図りつつ除融雪作業を実施 ・凍結防止剤の配布数 (1袋25kg用) 4,570袋（見込み）	・継続	維持課
		・交通弱者支援策の検討			
9		・地域における公共交通運営主体の形成 地域住民が主体となり交通手段を確保する事業を、地域主導型公共交通事業により補助する。	・6地域（中山線、入山辺線、ほしみ線、浅間温泉・大村線、波田循環線、島内川東乗合タクシー）	・継続支援	公共交通課
○まちづくり					
10		・人と車の共存に関する課題の研究			
		地元組織等と連携しながら、中心市街地への自動車の流入を抑制し、歩行者が安心して歩ける空間の創出に取り組む。	・まちなか歩行者数 R 5 年度 39,318人/9h（前年度比＋ 236人） R 4 年度 39,082人/9h（R2年度比＋6,484人） R 2 年度 32,598人/9h（前年度比▲ 385人） R元年度 32,983人/9h	・継続把握	交通ネットワーク課
		・絵文字、音声、点字、外国語などの手法によるわかりやすい案内表示の推進			
11		○公共施設案内サインのUD化 ・定期メンテナンスを実施	・5年ごとの定期メンテナンスを実施	・通常管理を継続実施	都市計画課
12		・障がいのある人も街中を楽しめるような環境の整備			
		○歩行空間あんしん事業 ・波打ち歩道を改修することにより、安心して歩くことのできる歩行空間を確保する。	・波打ち歩道の改修率 69.0% 【実績】R 4 年度 68.0% R 3 年度 60.9%	・波打ち歩道の改修率 71.0%	建設課
		・パーキングパーミット制度の普及	・駐車場協力施設（R5年9月現在） 車いす優先（幅広） 400区画 障がい者等優先（通常幅） 225区画	・制度普及を継続	（障がい福祉課） 長野県
14		・安心して利用できるトイレの設置とトイレの提供			
		○公共施設におけるトイレ環境整備事業 大規模改修及び修繕工事の際、改修工事を実施	・松本市南部体育館 1階トイレ（和4→洋4）	・臨空工業団地体育館 1階トイレ（和3→洋3） ・公衆トイレ 日の出町公衆トイレ（和1→洋1） 深志公衆トイレ（和1→洋1） 東町公衆トイレ（和1→洋1） 【参考】R6～R10の5年間で公衆トイレの洋式化を予定	スポーツ施設整備課 環境保全課

区分	取組例示	取組内容	R 5 年度実績	R 6 年度取組み	担当課
15		・UDによる建物、道路、公園など公共施設の一体的な整備			
		○公園のUD化 新設、拡張等を行う際に検討・実施	・トイレ洋式化 〔3カ所〕 平田公園、あがたの森公園、芳川公園	・トイレ洋式化 〔3カ所〕 沢村公園、城山公園管理棟、庄内公園	公園緑地課
		○地区公民館のUD化 地区公民館の改修工事に合わせ、トイレ環境整備などのUD化を推進	・中間改修工事に伴うトイレ洋式化 Mウイング（中央公民館） 南棟1～6階、北棟7階 松南地区公民館1階～3階	・該当施設なし	生涯学習課
		○保育園のUD化 園舎の新築、改築、大規模改修に合わせて、トイレ環境整備などのUD化を推進	・トイレ洋式化 〔10園〕 みつば、のぼら、岡田、内田、寿東、今井、神田、井川城、堀米、新村	・トイレ洋式化 〔15園〕 里山辺、あがた、宮田、平田、安曇、波田ひがし、梓川東、島立中央、寿、中山、南松本、笹部、双葉、桐、白板 【参考】R4～R7の4年間で対象となる40園を整備予定	保育課
		・災害等の非常時への対応システム整備			
18		○地域防災無線整備事業 合併地区の設備更新	・令和4年度までに地域防災無線の整備を完了	・当初整備の屋外スピーカー20局を更新予定 （R6～7年度の2か年で更新予定）	消防防災課
○住宅					
19		・既存施設の段差改善や解消など施設整備の推進			
		○UDによる民間及び市営住宅整備の推進 市営住宅で若者世帯向け改修を実施	・市営住宅をリノベーションしてバリアフリー化 〔7部屋〕	・市営住宅をリノベーションしてバリアフリー化 〔5部屋〕	住宅課
		○補助制度による障がい者の自宅のUD化 身体障がい者の日常生活の利便を図るための住宅等の整備改善	・障がい者住宅等整備事業による補助件数 2件	・継続	障がい福祉課
20		○補助制度による高齢者の自宅のUD化 高齢者の居住環境の改良に要する経費に対し助成し、高齢者が日常生活をできるだけ自宅で行えるように支援するとともに、家族介護者の負担軽減を図る。	・住宅改修への補助件数 533件（R6年1月分まで） 【実績】R4年度 606件 R3年度 645件	・継続	高齢福祉課
21					
○観光					
22		・はじめて訪れる人や外国人にもわかりやすい案内表示や音声案内の整備			
		○公共施設案内サインのUD化 定期メンテナンスを実施	・5年ごとの定期メンテナンスを実施	・通常管理を継続実施	都市計画課
23		・公衆無線LANの設置 ・ホームページの多言語化 ・パンフレットの多言語化	・公衆無線LAN 17カ所 ・公式観光情報サイトホームページ 9カ国 ・パンフレット 8カ国 ≪R5年度新規≫ ・スマートフォン向け観光音声ガイド「オンザトリップ」に多言語対応した松本市版コンテンツ「松本城とまち歩き」を開発・リリース ・松本城VRアプリに多言語対応機能を追加 ・松本城本丸庭園内に多言語対応したデジタルサイネージを2台設置	・継続	観光プロモーション課

区分	取組例示	取組内容	R 5 年度実績	R 6 年度取組み	担当課
24		・観光施設、宿泊施設、物販施設におけるUD化の取組みの推進			
		・ホスピタリティカレッジの開催講座数 ・ホテル旅館、個店等のWI-FI設置	<Wi-Fi補助金> ・事業目的を達成し、令和3年度で終了	—	観光プロモーション課
25		・観光案内ボランティアの育成			
		・ボランティアガイド研修会の開催 ・ボランティア会議(情報共有、交換)	・ボランティア会議を月例会6回、研修会3回実施	・継続	観光プロモーション課
◎ものづくり					
1		○UD製品の開発支援			
		・市民、行政、民間団体の連携によるUD製品の研究・開発			
2		・UD製品に関する情報交換	・まちなかベンチの検討（ベンチやテーブルの使いやすい構造・配置等の設置基準、オープンスペース等の有効活用などを検討）	・継続	まつもとUD研究会 （総合戦略室）
		・開発支援のための有効的な仕組みの整備			
3		・製品開発支援補助制度に関する情報提供	・該当なし	・継続	商工課
		○UD製品の普及・利用促進			
3		・まつもと広域ものづくりフェア等での製品の展示、情報発信			
		・UD製品に関する出展提案	・出展なし	・検討	商工課
◎ソフトづくり					
1		○情報			
		・すべての人に情報が行きわたるような、様々な方法での情報発信			
2		・Webアクセシビリティの導入 ・広報まつもと拡大文字	・HPは日本工業規格「JIS X 8341-3:2016」に準拠 ・広報紙はユニバーサルデザインフォントで基本的に10ポイント以上を使用し、読みやすい配色とする。 ・点字広報63部、声の広報（CD等）47部を毎月発行 ・多言語機能、読み上げ機能、文字拡大機能等を入れた広報紙アプリを導入 ・YouTube「松本のシンカ」では、字幕を大きく表示。同じ動画を10分に再編集し、市政テレビ番組として放送	・継続	秘書広報室
		・わかりやすいホームページの作成			
3		・読上げソフトや翻訳ソフトに対応したHP作成	・実施済み	・継続	秘書広報室
		・外国人向け外国語パンフレットの作成			
4		・多言語生活ガイドブック及び多言語防災ハンドブックの周知	・HPへの掲載のほか、外国人転入者への周知、松本市多文化共生キーパーソンを通じた周知等を実施	・継続	人権共生課
		○サービス			
4		・満足されるサービスを提供するための技術の習得			
		・接遇研修の実施(職員研修、職場研修) ・外部機関による接遇実態調査	・接遇実態調査 総合評価A 「接遇の気持ちをもち感じの良い対応ができる」	・外部機関による接遇実態調査の継続実施	職員課

区分	取組例示	取組内容	R 5 年度実績	R 6 年度取組み	担当課
5 6 7		・それぞれ利用者に応じた多様で決め細やかサービスの提供			
		休日夜間窓口の開設	・ 1 6 日	・ 継続	市民課
		希望に寄り添ったサービスの提供 ・やまびこ文庫(図書館の本を自宅へ配達サービス) ・録音図書郵送サービス ・対面朗読サービス	・やまびこ文庫：41名 ・録音図書郵送：1名 ・対面朗読：6名	・ 継続	中央図書館
7		・公金収納サービスの安定的な運用 ・インターネットを利用した収納方法やキャッシュレス収納の研究	・道路・水路占用料納付書のシステム改修を実施 【参考】令和5年度でキャッシュレス化が可能な納付書のシステム改修を全て完了 ・令和5年4月から固定資産税、軽自動車税のQRコード読取方式によるキャッシュレス納付を開始	・R7年度のシステム標準化に向けて、個人市県民税のQRコード読取方式によるキャッシュレス納付の研究及び体制づくりの実施	会計課 納税課 保険課
○ホスピタリティ					
8		・より良いサービス(おもてなし)を円滑に浸透させていくための研修			
		・接遇研修の実施(職員研修、職場研修)	・接遇研修の実施	・ 継続	職員課
9		・定期的な指導やカウンセリング、アドバイスが受けられるシステムの整備			
		・外部機関による接遇実態調査	・接遇実態調査 総合評価A 「接遇の気持ちをもち感じの良い対応ができる」	・外部機関による接遇実態調査の継続実施	職員課